

学位記番号： 修士第43号
氏名（本籍）： 本郷 美代子（滋賀県）
学位の種類： 修士（看護学）
学位授与年月日： 平成15年3月27日
学位論文題目： 老年期に糖尿病と診断された人の病気の認知

論文内容要旨

研究目的

本研究の目的は、老年期に糖尿病と診断された人の病気の認知の背景を明らかにすることである。

研究方法

質的・帰納的方法で研究した。

研究対象者に対して半構成的な面接を行い、そこから得られたデータを分析した。

研究結果

研究対象者は、高齢糖尿病患者10名であった。対象者は、男性7名女性3名で、年齢は65歳～82歳であった。得られたデータから、本研究のテーマに関して意味解釈ができる最小の単位を抜き出した結果、409個となった。それを1つ1つ比較し、属性について類似しているもの同士を集めた結果、66個の下位カテゴリーが導き出され、さらにそこからの比較検討により22個のサブカテゴリーとなり、最終的に5個のカテゴリーが抽出された。

考察

導き出された5個のカテゴリーによって、老年期に糖尿病と診断された人の病気の認知の背景は、次のように説明された。

糖尿病と診断された高齢者は【状況に対する反芻】【現状の理解】【今後の生活への不安】【生活の再構築の為の条件】【高齢者としての自己との向き合い】の場面があった。これらは単に存在するのではなく互いに関連していた。そして、【高齢者としての自己との向き合い】は、他の4個と強く関連していた。

また、4つの認知が見出された。

総括

本研究は、老年期に糖尿病と診断された患者の病気の認知の背景を明らかにすることを目的として、質的帰納的研究を行なった。高齢者は、老化を自覚しながら、糖尿病のある生活を調整しようとしていた。また、老年期という発達段階において、自己と向き合うことにより、今までの人生を振り返り、糖尿病のある人生を統合しようとしていると考えられた。